

アジア・太平洋水サミットの概要

水関連政策を統括している各国・国際機関の代表が、幅広い意見交換を行い、水問題の重要性を認識し、相互に協力して世界の水問題の解決を図ることを目的する会議。

※2006年の第4回世界水フォーラムにおいて橋本龍太郎元首相が設立宣言した、アジア太平洋水フォーラムが主催。

※第1回は2007年12月に日本・別府、第2回は2013年5月にタイ・チェンマイで開催。

<開催概要>

会 期： 平成29年12月11日（月）、12日（火）

開 催 地： ミャンマー（ヤンゴン）、セドナホテル

主 催： アジア・太平洋水フォーラム（会長：森喜朗元内閣総理大臣）
ミャンマー政府

テ ー マ： 持続可能な発展のための水の安全保障

主なプログラム：

- ・ オープニングセレモニー（各国代表の挨拶）
- ・ 国際機関等が主催する10のテーマ別セッション
→各テーマの議論の成果を踏まえ、持続可能な開発のための水の安全保障についての道すじを示すヤンゴン宣言を発表予定。

【石井大臣が参加するテーマ別セッション】（いずれも12月11日（月）開催）

- ・ 気候変動下の水と災害—山岳から島嶼まで—
- ・ 水循環の再生：雨水利用と持続可能な地下水管理
- ・ 衛生の改善と下水道管理

オープニングセレモニー、国交省が参加する各テーマセッションにおいて、石井国土交通大臣が挨拶をします。

※会合の詳細については日本水フォーラムのホームページでもご覧いただけます。

[\(http://www.waterforum.jp/\)](http://www.waterforum.jp/)